

# DNP DISPLAY FILM Type TDC DNP DISPLAY FILM Type TDO

## ■ 特長・用途

DNP DISPLAY FILM Type TDC、DNP DISPLAY FILM Type TDOは、レーザープリンタなどで扱うデジタル画像データから高品質な仕上がりが得られる、デジタル出力専用の過用/透過・反射兼用ディスプレイフィルムです。

このフィルムは、レーザーなどデジタル露光への応答性が高く、DminからDmaxまで、広い度再現性を得られます。特にシャドウ部においては、ディテールの再現力に加えて、締まりのある黒色を得られます。

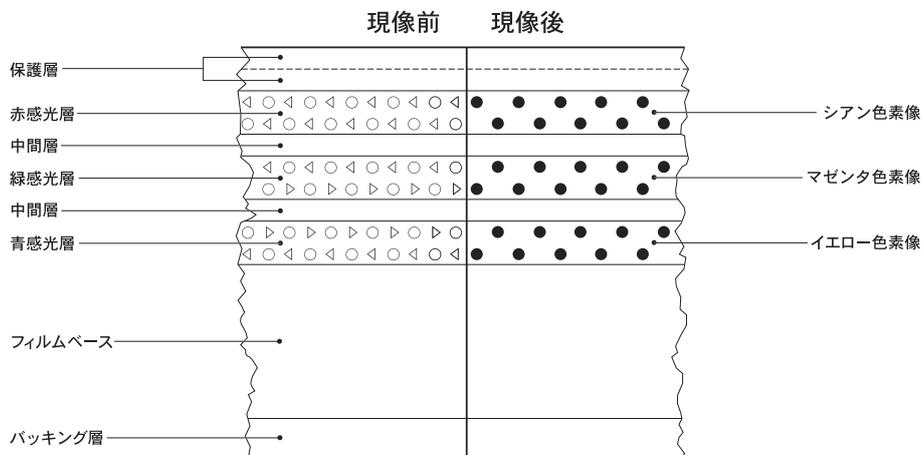
また、抜けの良いハイライト描写とシャープネスの向上により、文字や細線の滲みのないくっきりとしたプリントが得られます。

色再現性においても、幅広い領域において忠実で鮮やかな発色を実現致しました。

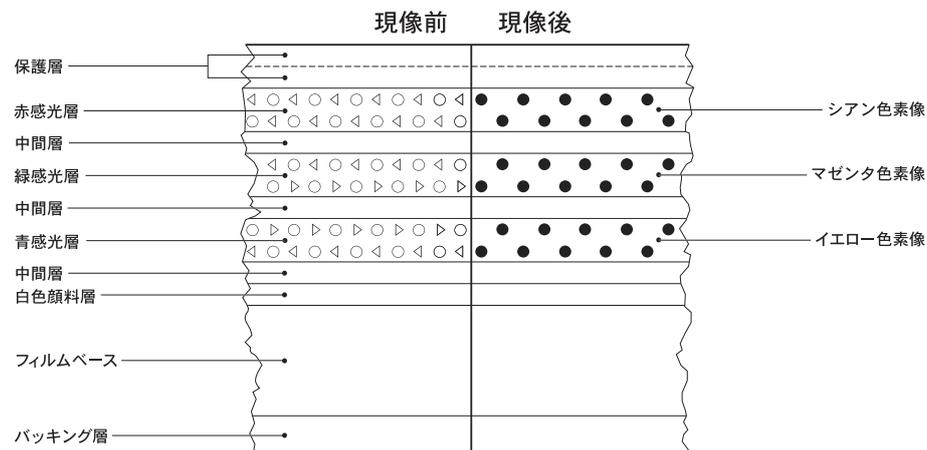
DNP DISPLAY FILM Type TDC、DNP DISPLAY FILM Type TDOは、このようなデジタル露光での優れた特性を活かし、商業分野の広告・宣伝から写真家の作品展示まで、カラー画像をより高品位に再現するデジタルカラーディスプレイ用として最適なフィルムです。

## ■ ペーパーの層構成

### DNP DISPLAY FILM Type TDC



### DNP DISPLAY FILM Type TDO



■ フィルムベース ポリエスターベース(ベース厚 180 μm)

■ フィルムサイズ ロール(最大幅 1,270mm × 30M)  
 ※サイズの種類については予告なく変更される可能性があります。

■ 現像処理

DNP DISPLAY FILM Type TDC、DNP DISPLAY FILM Type TDOはCPD-2シリーズ又はRA-4処理仕様ケミカルを使用して処理できます。

● 処理環境による発色現像補

補充量は、自動現像機の種類、処理量、蒸発量、プリントの濃度などによって調整しなければなりません。

このとき、特に発色現像補充量については、オーバーアクションにならないように、一度に変化させるのではなく、少しずつ調節してください。

● 処理量による調整

処理量が減少すると、処理液の酸化や蒸発などにより、処理液の組成が変化します。

このときには、補充量を調節し、処理液レベルを安定させなければなりません。

1ヶ月の処理で、タンク容量分以上の補充がされることが目安ですが、コントロールストリップで処理液レベルを確認しながら調節して下さい。

例) タンク容量 : 50L

月間処理量 (㎡)	対標準補充量 (%)
134以上	100
89	150
67	200

● プリント濃度による調整

濃度の高いプリントを多量に処理するときや、濃度の低いプリントを多量に処理するときには、処理液の組成が変化します。

このときには、プリントの濃度に応じて、補充量を調節します。

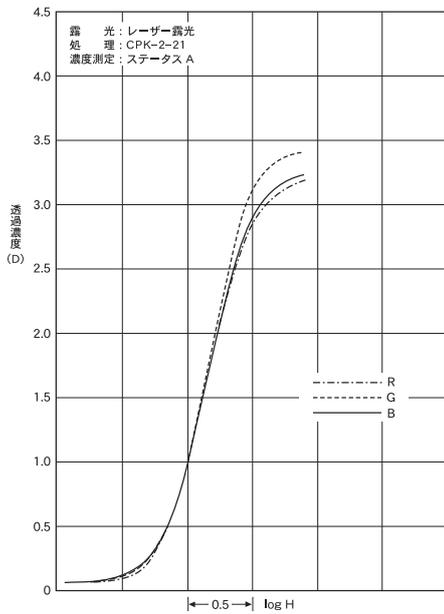
右表を目安に、コントロールストリップで処理液レベルを確認しながら調節してください。

プリント	平均濃度	対標準補充量 (%)
薄い	0.5以下	60
標準	0.5~1.5	100
濃い	1.5~2.0	146
非常に濃い	2.0以上	180

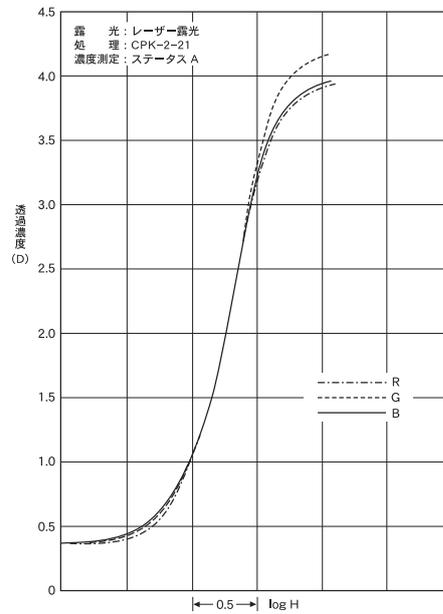
■ セーフライト及び暗室光 取り扱いは全暗黒下で行います。セーフライトのご使用はお避けくださ

## ■特性曲線・分光感度特性

DNP DISPLAY FILM Type TDC  
特性曲線

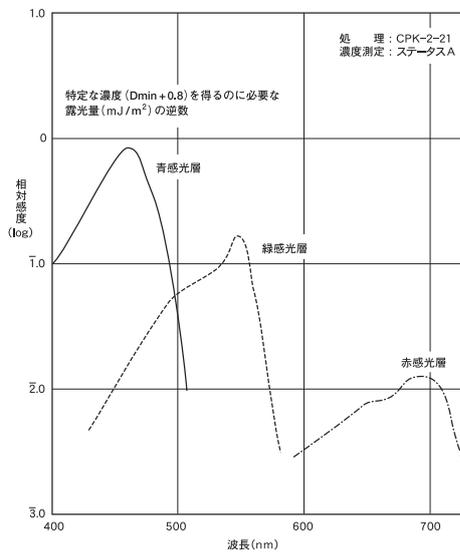


DNP DISPLAY FILM Type TD0  
特性曲線



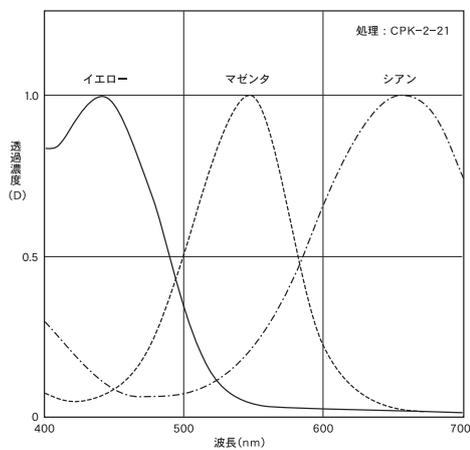
世界最高濃度レベルを達成すると共に、低濃度部から高濃度部にかけてニュートラリティー性の高い優れた階調性を実現しました。

分光感度曲線

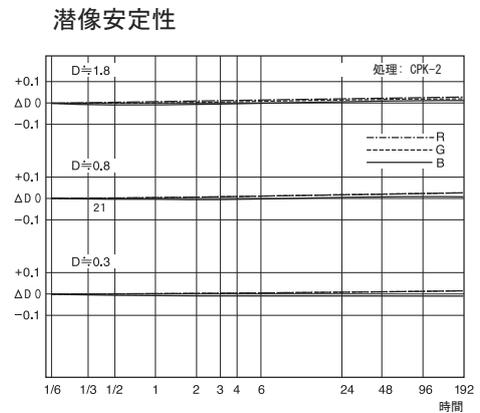
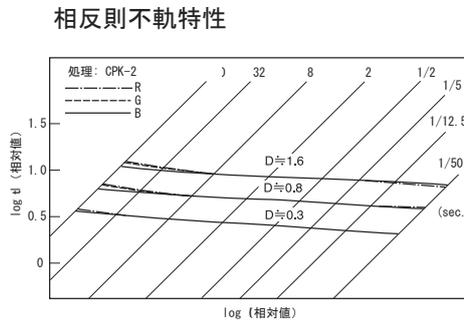


## ■色素の分光特性

色素の分光濃度曲線

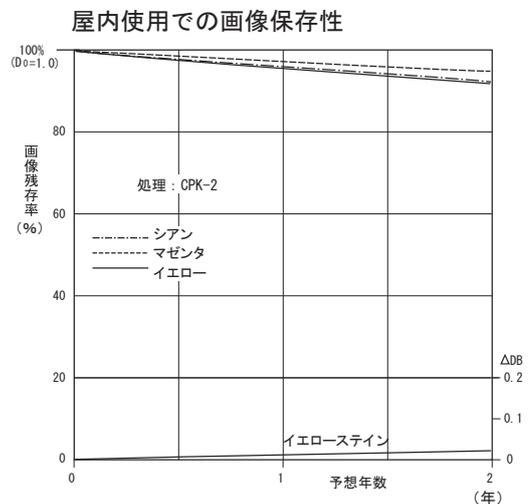


## ■相反則不軌特性・潜像安定性



## ■室内ディスプレイ用途での画像保存性

間欠照射(裏面)による予測の明所  
 保存性平均光量 5000Lux 10hr/Day  
 (90KLux/キセノン光 間欠照射データより算出)



## ■取り扱い上のご注意

- 1) 未使用のフィルムは封を切らずに冷蔵庫などの低温・低湿(10℃以下)条件下で保存して下さい。
- 2) 冷蔵保存されていたフィルムを取り出してすぐに使用しますと、高温・高湿の条件下では、フィルムの表面に水分の凝縮が生じます。  
 また、プリント時のフィルムの湿度によりプリントの濃度・色バランスに影響することがありますので、必ず室温に戻してからご使用ください。また、使用後は10℃以下で冷蔵保存してください。
- 3) 一般的に、フィルムはペーパーに比較してスタチック、スクラッチが発生しやすくなっています。露光時、処理時の取り扱いに充分ご注意ください。

## 株式会社DNPフォトイメージングジャパン

本 社 〒164-0013 東京都中野区弥生町3-35-13  
 (総合受付ナビダイヤル) (フリーダイヤル) TEL:0120-37-2010 FAX:03-3299-1201  
 (本社営業) 【営業統括部】 TEL:03-6702-0780 FAX:03-3299-1203  
 【営業開発ソリューション部】 TEL:03-6702-0780 FAX:03-3299-1203  
 【量販営業部】 TEL:03-6702-0785 FAX:03-3299-1203  
 大阪営業部 〒550-8508 大阪市西区南堀江1-17-28 なんばSSビル5F TEL:06-6110-4270 FAX:06-6110-4249  
 札幌オフィス 〒065-0007 札幌市東区北7条東11-1-1 (株)DNP北海道内4F TEL:011-750-2530 FAX:011-750-2540  
 東北オフィス 〒983-0036 仙台市宮城野区苦竹3-5-1 TEL:022-232-2771 FAX:022-232-2773  
 名古屋オフィス 〒463-8550 名古屋市中山区瀬古3-201 TEL:052-758-6410 FAX:052-758-6420  
 中国オフィス 〒732-0825 広島市南区金屋町2-14 アフロディテ8F TEL:082-568-9050 FAX:082-568-9051  
 九州オフィス 〒812-0023 福岡市博多区奈良屋町2-1 博多蔵本太田ビル6F TEL:092-291-5331 FAX:092-291-5332

お問い合わせ

URL: <http://www.dnpphoto.jp/>